

調査概要

調査目的	主婦の買物動向の把握
サンプリング	3段階抽出
調査方法	電話聞き取り調査
調査実施時期	2003年9月1日～10月31日
調査対象者	下記地域及び年代の主婦

	20代	30代	40代	50代	60代	計
岡山 (岡山市)	50	50	50	50	50	250
倉敷 (倉敷市)	50	50	50	50	50	250
津山周辺 (津山市・加茂町・鏡野町・勝央町・奈義町・勝北町・勝田町・大原町・美作町・ 作東町・中央町・久米南町・久米町・柵原町・真庭郡)	50	50	50	50	50	250
高松 (高松市)	50	50	50	50	50	250
福山 (福山市・神辺町)	50	50	50	50	50	250
計	250	250	250	250	250	1250

調査実施機関 岡山情報文化研究所

岡山市 調査結果のまとめ

【食料品】

店舗数が多いマルナカが23.2%で最高率。天満屋ハピータウン(11.2%)、ふじうら(6.8%)、ハピーズ(6.0%)、プラッツ(6.0%)と続くが分散している。食料品の購入店舗の選択理由で「家に近い」が最も高い。

食料品の購入頻度は週2・3回(42.8%)が最も高く、前回調査よりも全体的に頻度は高くなっている。週2・3回以下で買い物に行く人に、よく行く曜日を聞いたところ、土曜日(26.5%)が最も高く、土日の週末では35.3%を占める。

【日用雑貨品】

購入店舗で最も高いものでも、マルナカとくすりのラブの12.6%。以下、天満屋ハピータウン(6.9%)、おかやまコープ(5.3%)と続く。また、前回調査以降にオープンしたドラッグストアひまわりは低価格が人気で6位に入っている。店舗選択理由は「家に近い」「値段が安い」「品物が豊富」がベスト3。

【日用衣料品】

天満屋ハピータウンが25.1%を占め、最も高い。以下イトーヨーカドー(13.8%)、天満屋(10.9%)、ジャスコ(8.8%)。店選びは品揃えが重視されている。

【家電品】

店舗数が多いデオデオが42.7%を占め高い。以下、ヤマダ電機(12.5%)、ベスト電器(11.6%)、ニノミヤ(11.2%)。品物の豊富さやアフターサービスについて重視し、大型家電量販店での購入が、前回同様顕著である。

【家具】

購入店舗は、太陽家具(19.9%)、タイム(9.6%)、坂本タンス店(9.6%)がベスト3だが、様々な店舗があげられている。購入店舗の選択理由は「品物が豊富」「家に近い」「値段が安い」の順。

【外出着】

品揃え、センス、品質が重要視される外出着では、天満屋(41.3%)、高島屋(14.9%)の百貨店が1位と2位を占める。以下、天満屋ハピータウン(11.9%)、イトーヨーカドー(4.3%)の順。

【贈答品】

百貨店の天満屋(52.1%)、高島屋(19.2%)が上位を占めた。次が天満屋ハピータウン(11.7%)。店舗選択では、高級感・信頼感と同程度に品揃えも重視している。

【交通手段】

日常的な買物の時の交通手段は自動車が66.3%を占める。次いで自転車が26.5%。大型店へ行く距離は「車で30分程度」(46.8%)が最も高く、次が「車で15分程度」(23.2%)。前回は「車30分程度」(42.8%)、「車で15分程度」(36.8%)の順。前回より遠距離へ行くとの回答が増えている。

【情報機器等】

主婦の通信機器の使用状況は、「携帯電話でのメール」(62.4%)、「自宅でのFAX」(38.8%)、パソコンでのネット(30.8%)、「パソコンでのメール」(24.0%)、「携帯電話でのネット」(12.8%)の順で高い。

20代は携帯電話の活用が高く、パソコンは30代が高い。60代になると「どれも使わない」が半数を占める。また有職者のほうが情報機器の使用が活発で、特に無職者と差が大きいのが携帯メール。

倉敷市 調査結果のまとめ

【食料品】

家に近いことが店舗選択の大きな理由となる食料品では、前回よりも店舗数が増えたマルナカ(20.0%)が最も高く、次が店舗数が多いニシナ(17.2%)。以下、テンンマヤハッピーマート(5.6%)、シュフレ(5.2%)と続くが、あまり高い割合ではない。

食料品の購入頻度は、週に2・3回が49.2%を占め最も高い。また週に4・5回以上の高頻度で買い物に行く人は38.8%を占める。週に2・3回以下で買い物に行く人に最もよく行く曜日を聞いたところ、土日の週末の合計では38.3%を占める。

【日用雑貨品】

最も高い店舗は食料品と同じく、マルナカ(13.9%)。2番目がひまわり(8.2%)。以下、無店舗販売(7.4%)、ニシナ(7.0%)。ドラッグライオン(7.0%)だが、大きな差はない。

【日用衣料品】

品物の豊富さが店舗選択の重要点である日用衣料品は、イオン倉敷(26.1%)、天満屋ハピータウン(10.9%)、しまむら(8.0%)、無店舗販売(8.0%)の順。

【家電品】

倉敷市内で大型家電店としては最も店舗数が多いデオデオ(4店舗)が35.4%で最も高い。次が3店舗のニノミヤ(21.5%)

【家具】

店舗選択の理由として品揃えが比較的重要な家具の購入店舗は、特に高い店舗はなかった。上原タンス店(15.7%)、ナフコ(13.7%)、インテリアセンターくらしき(12.4%)、ナンバ(8.5%)など、家具専門店とホームセンターでの購入者が多く見られる。

【外出着】

品物が豊富、商品センス、品質が店舗選択理由のベスト3である外出着は、天満屋(28.0%)、イオン倉敷(16.9%)、三越(15.6%)、天満屋ハピータウン(8.0%)、高島屋(5.3%)の順。天満屋岡山店や高島屋岡山店が含まれ、隣接する岡山市での購入も多い。

【贈答品】

天満屋(34.3%)、三越(24.6%)の2つで60%近くを占め百貨店が強い。以下、イオン倉敷(7.2%)、天満屋ハピータウン(6.8%)と続く。

【交通手段】

日常的な買物の交通手段は圧倒的に自動車で、74.4%を占める。次に高いのが自転車(16.4%)。

大型店まで行く距離は、最も高い回答が「来るまで30分程度」(45.2%)。次が「車で15分程度」(27.2%)。

【通信機器】

通信機器使用状況で最も高いのが、携帯電話でのメール(47.2%)。以下、自宅でのFAX(38.0%)、パソコンでのネット(30.8%)、パソコンでのメール(22.4%)。

前は、自宅でのFAX(38.4%)、携帯でのメール(18.8%)、パソコンでのメール(14.0%)、パソコンでのネット(13.6%)、携帯でのネット(5.2%)の順。特に携帯電話でのメールが増加した。携帯とパソコンの使用が特に高いのは年代別では30代。また、有職者は全ての情報機器で高い値を示した。エリア別では中央部が高い。

津山市周辺 調査結果のまとめ

【食料品】

「家に近い」と「品物が豊富」が店舗選択の理由としてほぼ同率で1位・2位の食料品。アイム天満屋とイズミが同率の13.6%

食料品の購入頻度は、週に2・3回が49.2%を占め最も高い。次が週1回の22.8%。週4・5回以上の高頻度購入者は27.2%を占める。週2・3回以上買い物に行く人に、最もよく行く曜日を聞いた。土日の週末が40.4%を占める。平日で最も高いのは火曜日(24%)。

【日用雑貨品】

日用雑貨品は、品揃えと価格と駐車場の評価が高い。ナンバが最も高く、27.5%。以下、イズミ、アイム天満屋、無店舗販売の順だが、どれも10%未満。

【日用衣料品】

ジャスコが34.2%を占めた。以下、イズミ(17.3%)、無店舗販売(7.4%)。

【家電品】

デオデオが50%を占め、割合は高い。次が、ベスト電器(17.9%)。

【家具】

購入店舗はナンバが最も高く19.1%。以下おちタンス店(16.7%)、末沢家具(15.4%)、タイム(7.4%)。

【外出着】

店舗選択理由として「品物が豊富」が50%を越えた外出着では、ジャスコ(28.6%)が1位。以下、イズミ(18.1%)、アルネ津山(16.2%)の順で高い。

【贈答品】

品揃えが店舗選択の大きな理由である贈答品では、アルネ津山(13.7%)、ジャスコ(12.8%)、イリエ(10.2%)、イズミ(8.9%)の順で高かった。

【交通手段】

日常的な買物の時の交通手段は、自動車が86.8%を占め、前回(87.2%)とほぼ同様だった。大型店へ行く距離で、最も高い割合を占めるのが、「車で30分」(53.6%)。次が「車で15分」(23.6%)。

【通信機器】

通信機器の使用状況は、「携帯でのメール」(47.2%)が最も高い。以下、「自宅でのFAX」(36.4%)、「パソコンでのネット」(18.8%)、「パソコンでのメール」(13.2%)の順。前回半数を越えた「どれも使わない」は、今回は34.8%。

前回調査時点では、「自宅でのFAX」(31.2%)が最も高く、以下、「携帯でのメール」(17.6%)、「パソコンでのネット」「パソコンでのメール」(12.8%)、「携帯でのネット」(9.2%)の順。

20代で特に「携帯でのメール」(71.4%)が瓦解。50代以上になると「どれも使わない」が高くなってくる。また、有職者のほうが、どの情報機器も使用率が高い。

高松市 調査結果のまとめ

【食料品】

家に近いことが、店舗選択の第一の理由である食料品では、高松市内に20店舗あるマルナカが44.4%を占め、他の店舗との差が大きい。以下、コープかがわ(14.0%)、マルヨシセンター(8.0%)。

週に2・3回以下で買物に行く人に最もよく行く曜日を聞いたところ、土日の週末が35.7%で平日の割合が高い。

【日用雑貨品】

食料品と同様、店舗数も多いマルナカが32.1%と最も高い。日用雑貨品はスーパー以外にもホームセンターやドラッグストアなど店舗の種類も多いため、マルナカ以外は10%以下で分散している。2番目以下は一ツ香川(9.6%)、マルヨシセンター(8.3%)。

【日用衣料品】

品揃えを重要視する日用衣料品では、食料品、日用雑貨に続きマルナカ(24.4%)が最も高い。以下、ゆめタウン(16.5%)、三越(12.4%)、サティ(8.7%)。

【家電品】

品揃え・低価格の評価が高い家電では、ヤマダ電機(32.4%)が最も高い。次が、デオデオが店内にあるゆめタウン(16.4%)。以下マツヤデンキ(5.0%)が続くが、値は低い。

【家具】

「品物が豊富」が店舗選択理由として最も高い家具では、高松市内に2店舗あるタカラヤ家具(30.8%)が最も高い。2位以下は10%未満で、ディックONE(8.3%)、パルサンコー(7.5%)、無店舗販売(6.7%)。

【外出着】

店舗選択理由で品物の豊富さ・センス・品質との回答が、それぞれ40%を越える外出着で、最も高い割合を占めた店舗は、三越(40.3%)。以下、ゆめタウン(15.8%)、天満屋(9.5%)、サティ(4.5%)と続く。

【贈答品】

贈答品の店舗選択理由は「高級感・信頼感」が60%弱で最も高い。三越(61.8%)が最も高い。以下、天満屋(11.1%)、そしてゆめタウン(3.6%)。

【交通手段等】

日常的な買物の時の交通手段は、自動車(54.0%)が最も高く、次が自転車(31.2%)、徒歩(11.6%)。

大型店へどれくらいの距離まで行っているか聞いたところ、「車で15分」(37.6%)が最も高いが、次に高い「車で30分」(36.8%)とほぼ同じ値を示した。

【通信機器使用状況】

通信機器の使用は、「携帯電話でのメール」(49.6%)が最も高い。以下、「自宅でのFAX」(37.2%)、「パソコンでのネット」(30.4%)、「パソコンでのメール」(24.0%)、「携帯電話でのネット」(12.8%)。「どれも使わない」は29.6%を占める。

前回調査では、「どれも使わない」(39.1%)が高かった。使用しているもので高いのは「自宅でのFAX」(40.7%)、「携帯電話でのメール」(32.3%)、「パソコンでのネット」(18.2%)、「パソコンでのメール」(15.7%)、「携帯電話でのネット」(11.3%)の順。

年代別では20代・30代で、「携帯電話でのメール」が80%を超え、特に高い。20代はパソコンの使用も活発だ。60代は「どれも使わない」が70%を占める。

福山市周辺 調査結果のまとめ

【食料品】

「家から近い」ことが店舗を選ぶ大きな理由となっている食料品は、福山エリア内で店舗数が多いハローズが最も高く32.4%を占める。以下は全て10%未満で、ハート(9.6%)、小田商店(6.0%)、フレスタ(5.2%)と続く。

食料品の購入頻度は「週に2・3回」が41.2%を占め最も高い。週に4・5回以上の高頻度購入者は46.4%。週に2・3回以下で買物に行く人に最もよく行く曜日を聞いたところ、日曜日が最も高く、27.2%。土日の週末では33.3%。

【日用雑貨品】

店舗数が多いドラッグストアひまわり(32.4%)が最も高い。以下、ホームセンターのユーホー(10.4%)、スーパーのハローズ(10.0%)、ヤックス(5.6%)と続く。ドラッグストアやホームセンターでの購入が多いことが伺える。選択理由は低価格や品揃えなどが高い。

【日用衣料品】

イトーヨーカドー(27.5%)が最も高く、以下、ゆめタウン(12.3%)、天満屋ハピータウン(10.7%)、しまむら(10.7%)の順。2～4位は10%程度で。地理的な要因のためか、主要店舗は分散している。

【家電品】

サービスと品揃えが重視される家電品店では、福山エリアで店舗数が多いデオデオが55.6%を占める。以下、ヤマダ電機(27.1%)、ベスト電器(6.2%)、マツヤデンキ(2.9%)。

【家具】

店舗選択の理由で「品物が豊富」が「値段が安い」が40%強の家具の購入店舗は様々で、「その他」が46.2%を占める。最も高いのは、ホームセンターのユーホー(14.7%)と下江タンス(14.7%)。以下ディック(7.7%)、「コスモインテリア(6.3%)と続く。

【外出着】

品揃えが重視される外出着で最も高い割合を占めたのが、現在は福山エリアで唯一の百貨店、天満屋福山店(48.9%)。以下、イトーヨーカドー(18.8%)、天満屋ハピータウン(6.6%)、ゆめタウン(6.6%)の順。

【贈答品】

店舗選択理由で「高級感・信頼感」(54.7%)、「品物が豊富」(49.2%)が高い贈答品の購入店舗では、天満屋が61.9%を占め、最も高い。以下、天満屋ハピータウン(7.2%)、イトーヨーカドー(5.1%)、大進(4.7%)と続く。2位以下は10%未満。

【交通手段等】

日常的な買物の時の交通手段は、自動車(69.2%)が最も高い。以下、自転車(18.0%)、徒歩(6.0%)。

大型店へ行く距離は、「車で30分程度」(45.6%)が最も高く、以下「車で15分程度」(35.2%)、「車で1時間程度」(8.8%)、「自転車圏内」(6.4%)。車で15～30分の大型店に行く割合が全体の80.8%を占めている。

【通信機器】

通信機器の使用状況は「携帯電話でのメール」(52.8%)、「自宅でのFAX」(38.4%)、パソコンでのネット」(30.0%)、「パソコンでのメール」(23.2%)、「携帯電話でのネット」(14.4%)の順。前回は、「どれも使わない」が48.5%を占、使用しているものでは「自宅でのFAX」(31.9%)、「携帯電話でのメール」(21.7%)、「パソコンでのネット」(19.6%)、「パソコンでのメール」(17.5%)、「携帯電話でのネット」(9.8%)。年代別では、20代で「携帯電話でのメール」(86.0%)が突出して高い。50代以上は「どれもつかわない」が高くなり、50前後を占める。